

未来に向かって、自ら羽ばたく北っ子！

そら豆は まことに青き 味したり

細見綾子

新年度がスタートして、2か月が過ぎました。紹介しました俳句は、青垣町出身の俳人細見綾子さんのもので、色だけでなく、初夏の若々しさや生命力そのものを「味」として感じている句です。北小の子ども達にも、この俳句のように、幸世の豊かな自然の中で、五感を働かせ心豊かに育てほしいと願っています。

さて、北小では、今年1年、子ども達がわくわくする学校を目指して教育活動を進めて参ります。そして、教師や



1. 2年生：えんどう豆さやむき体験

保護者・地域の方々も、子ども達と関わることでわくわくする、そんな学校を創っていきたく思っておりますので、どうかご協力よろしくお願い致します。別紙として、地域のランティアの募集のお知らせを配布させていただきます。さつまいも畑のお世話、草刈り、登下校の見守り等、ぜひ、ご参加くださいますようよろしくお願い致します。

図書室がリニューアル!金曜日の放課後、お待ちしております!

令和6年度にPTAのご協力により図書室整備がスタートしました。そして、令和7年度、丹波市の「こどもが描く学校図書館づくり支援事業」の指定を受け、引き続き図書室整備に取り組みました。北小図書室が、子ども達の意見を取り入れながら、より親しみやすく、過ごしやすい空間として生まれ変わりました。

大阪の門真市では文化創造図書館「KADOMADO」(門・窓)がオープンしました。約20万冊の蔵書がある図書館ですが、旧来の図書館のイメージ



5月8日図書室開放：ただ今宿題中!

とは違い、中にカフェや飲食可のスペースがあったり、子ども向けの「えほんの山」や「クラフトラボ(工作)」、「テックラボ(プログラミング)」があったりと、もちろん静かに本が読める場所も確保しながら、人々が集う場所としての機能も備えている新しい図書館です。

北小の図書室も、これと同じようなイメージで、子ども達や地域の方々が集える場所として、そしてやっぱり、本を身近に感じられる場所として進んでいけたらと思っています。

4月のリニューアルオープンから、多くの子ども達が図書室を訪れてくれていますが、使い方を巡っては課題も出てきました。それらも、子ども達を中心にどうしたらよいか話し合い解決していきたいと思ひます。

先日、図書室見守りボランティアさんを募集しましたところ、5名の方にご参加いただくことになり、5月8日より図書室開放を始めています。(詳しくは別紙をご覧ください。)

5月8日は、小学生やこの図書室のアイデアを出してくれた中学生など、約20名が来て、本を読んだり、宿題をしたり、カードゲームを楽しんだりして過ごしてくれました。

地域・保護者の皆様もどうかお気軽にお立ち寄りいただけたらと思います。毎週金曜日、お待ちしております。